

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		コンビニ（経営者）	・営業する飲食店が周りに増えたので、年末に向かって来客数も増える。	
		コンビニ（エリア担当）	・顧客ニーズのある商品の開発によりまだまだ売上が伸びることがはっきりしているため、眠っているニーズはかなりある。	
		高級レストラン（営業担当）	・昨年の同時期よりは、売上が若干増加する見込みである。	
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・本土からの飲食店の出店が多くなって市場が激化している割に、地元客の来店が安定している。	
		観光型ホテル（総支配人）	・企業の旅行需要が増加している。ただし、競合施設の急増により安価な旅行商品から売れ始めているのが現状である。室料等も前年より5%前後低下する見込みではあるが、宿泊客数は前年同月比で10%の増加が見込めており十分補える状況である。	
	変わらない	通信会社（店長）	・番号ポータビリティに向け、若干の期待が持てる。	
		ゴルフ場（経営者）	・集客策を準備しているため、よほどのことが無い限り、若干良化する。	
		百貨店（担当者）	・昨年は11月末からの全国的な冷え込みにより、防寒衣料が飛躍的に伸長した。沖縄地区においては冬場の気温と件が大きく影響を及ぼすことから、11月以降の予測が難しい。ただし、特にマイナス要因は無いことから、今後も動向は堅調に推移するものと判断する。	
		コンビニ（エリア担当）	・繁忙期である6～9月の不振がこの年末年始に影響する可能性が大きい。併せて売上の前年比が下がり続けているのを考慮すると、資金繰悪化もありうる。縮小の歯止めが無い限り低迷は続く。また、今後の冬商戦においても量販店に有利になる見込みである。	
		家電量販店（従業員）	・客の買物の内容やスタイルからは、とても好景気にはみえない。もっとスマートな買物のスタイルにならなければ、好景気は程遠い。	
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・いろいろと観光客の施設が多く、競争相手は増加して地元客は減少する。	
		観光名所（職員）	・沖縄観光は8月、9月と順調に推移している。これから先も、特に悪化する要因は見当たらず、入域観光客数は沖縄ブームに支えられ前年同月並みの数字は確保する。	
		やや悪くなる	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	・しばらくは修学旅行などの団体客が増加するが、観光の傾向として、ショッピングなどより「体験」などに時間を大幅に取るプログラムが増加しているため、物販での売上増加が厳しくなる。
			スーパー（経営者）	・今後、大型店の出店予定があり、競合店との競争がますます厳しさを増す。
その他専門店〔書籍〕（店長）	・最近の傾向で必要最低限の商品しか購入しない客がかなりいる。衝動買いの機会が減り、ベストセラーと呼ばれる商品がほとんど出版されない現状が今後も続いていく。			
観光型ホテル（商品企画担当）	・トップシーズンも終わり、10月、11月については稼働率が前年同月比で約95%程度にとどまる見込みである。			
悪くなる	商店街（代表者）	・地元客は外部の大型店利用の方が多い。観光客もインターネットの情報を参考にして、安くて良い品を探して買うようになっている。財布のひもが固くて売上にはつながりにくく、大変四苦八苦している状況である。		
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		輸送業（営業・運営担当）	・陸送以外の物流会社とのコラボレーション強化により、お互いの得意分野をいかして協力体制を確立している。そのため売上増加、取引増加が見込まれる。	
	コピー業（代表者）	・今年11月は知事選挙があるので、10月頃から多少は良くなる。		
	変わらない	建設業（経営者）	・引き合い件数の伸びが鈍化している。	
広告代理店（営業担当）	・放送業界、通信業界、家電業界が大きく変革する今日の状況下において、当然、生活者の消費意欲も活性化することが予測されるが、一方の企業側は経費縮小又は前年維持の傾向にある。			

		会計事務所（所長）	・輸入雑貨業者では円安傾向で、輸入価格が上昇している。また、得意先である小売業者からの条件も厳しく、消費マインドが回復していないことがうかがえるため、当面の業況に改善な方向性が現れていない。
	やや悪くなる	通信業（営業担当）	・大口ユーザーのネットワーク見直しによる回線利用料の低減化がある。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（経営者）	・今の動きから、しばらくは派遣依頼は多くなる。ただ、正社員の募集も増えたため、派遣スタッフの確保が更に厳しくなっている実情もあるので、数字にどれだけ結び付くのか少し懸念される。
		職業安定所（職員）	・8月において、紹介件数は6,240人で3か月前比12.1%、前年同月比10.3%の減少である。就職件数は1,347人で3か月前比2.0%、前年同月比8.7%の増加である。産業別の求人状況は、建設業では前年同月比55.9%増加している。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・全体的に人手不足の感は否めない。また、年末の多忙な時期を迎える前に採用しておこうという企業が今後増える。
		学校〔大学〕（就職担当）	・県内には大型ホテルの設置でホテル関係の採用が大幅に増加する見込みである。また、県内外からのIT企業の採用が増加する。
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当）	・求人企業開拓を行っているが、ここしばらくは状況の好転が望めそうもないという企業の声がある。
	やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-	